

心のバリアフリー教育の推進

< 今年度の取組等紹介 Vol.13 >

「心のバリアフリー教育グッドプラクティス」顕彰校紹介

顕彰校における他の学校に参考となり優れた成果のあった実践内容等を紹介します。

【最優秀賞】

県立四街道北高等学校



保育園ボランティア実習の様子

実践内容

- ①パラスポーツ体験
 - ・体育の授業におけるボッチャ体験
 - ・ボッチャ選手による出前授業
- ②パラスポーツ講演会
 - ・事前学習として道徳教材の活用
 - ・パラアスリートの講演会
- ③手話による活動・交流
 - ・各種メディアや発表会に出場
 - ・特別支援学校との交流
- ④保育基礎コースでのボランティア活動・障害者理解促進
 - ・保育園ボランティア実習
 - ・高大連携出前授業「障がい児教育」

実践成果（生徒の変化等）

- ・パラスポーツがさまざまな場で交流できるスポーツであることを理解した。
- ・「いろいろな人が支え合うことで、困難を乗り越えることができると感じた。」などの意見があった。
- ・プレゼンテーションの準備等を通じて、さらなる意欲向上を見取ることができた。

【優秀賞】

神崎町立米沢小学校



大平台フェスティバルの様子

実践内容

- ①「花いっぱい運動」プロジェクト
 - ・グループホームや町公共施設に、メッセージを添えた花の配付
- ②特別支援学校との交流
 - ・特別支援学校との交流レク大会の実施
- ③福祉体験学習
 - ・車イス、高齢者疑似体験
 - ・盲導犬とのふれあい体験
- ④パラアスリートとパラスポーツ体験・交流（あすチャレ！スクール）
 - ・メダリストによる講話、体験活動
- ⑤地域交流事業（大平台フェスティバル）
 - ・地域の高齢者とスポーツ等による交流

実践成果（児童の変化等）

- ・どうすればよりみんなが参加しやすいか、楽しんでもらえるか相手の立場になって考えるようになった。
- ・障害のある人が困っていたら、声を掛けて手伝うようにしたいという感想があった。
- ・地域の方に積極的に話しかける場面が見られた。